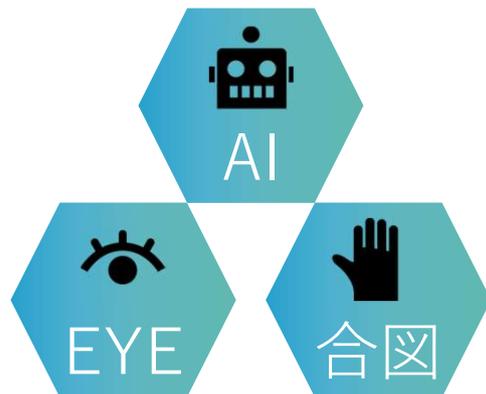


合図者の意思をジェスチャーで瞬時に伝達できる

デジタルコミュニケーションシステム

AI姿勢検知システム アイズ AI'S

- ✓ 合図をするのは **だれでもOK・装備不要**
- ✓ 合図が必要な時だけ伝達できるので **作業に集中できる**
- ✓ **瞬時に伝わる** から2次災害も防ぐ
- ✓ **合図者側からの意思を能動的に発信できる**



POINT 1

ジェスチャーでスムーズなコミュニケーション

重機オペレータが運転席から見える範囲は限られているため、死角が発生します。そういった死角内で発生する状況を伝達するために合図者が合図(ジェスチャー)をすることで、AIが合図(ジェスチャー)をすばやく検知し、重機オペレータへの合図者による意思の伝達を補助することができます。

声などでは伝えることが難しい状況で、合図(ジェスチャー)がコミュニケーションを補助します。



使用イメージ



現場での使用状況

POINT 2

AIが現場内の状況・緊急事態などをすばやく伝達

AIが合図(ジェスチャー)をリアルタイムに認識します。例えば、重機の死角で不安全な状況が発生した際、それに気づいた人が合図(ジェスチャー)をすることにより、重機の運転席に音と光で警報を発することができます。

これにより重機オペレータは、平常時は作業に集中しながら、不安全な状況が発生した時はすばやく気づくことができるため、作業効率を損なわずに安全性を **向上することができます。**



運転席のモニター

➤ 活用場面はほかにも・・・

次のページへ

POINT
3

ジェスチャーコミュニケーションDX

通常、現場ではジェスチャーによって意思を伝達する場面がたくさんあります。本システムは、「人の姿勢」や「ジェスチャー」といった従来アナログであった情報をデジタル化することで、ジェスチャーコミュニケーションを効率化します。例えば、作業場所から現場事務所内への意思伝達、離れた作業場所間での意思疎通などにも活用の可能性が広がります。まさに、建設DXがもたらす生産性向上といえます。

システム概要

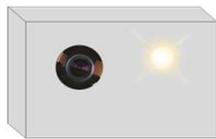
だれでもOK!!
装備不要!!



合図で伝える

合図者とカメラとの距離
約8m以内

角度：約130度



カメラ・警告灯



AIエッジコンピュータ

AIが伝える

警報



運転席(モニター画面)

付属品

AIエッジコンピュータ(電源アダプター付)、筐体(カメラ・警告灯内蔵)、USBケーブル(10m)、7インチディスプレイ(電源アダプター付)、HDMIケーブル(3m)、吸盤式マウント

※本システムは、人の検知・骨格の検知・合図の検知及びそれらの動作を保証するものではありません。天候、気温、背景、環境など、さまざまな周囲の状況により、検知・動作しない場合があります。本システムは、ほかのさまざまな情報伝達手段の補助システムです。下記の開発者は、本システムを使用して生じた事故や損害などに関して、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

販売代理店

KIMOTO

株式会社 きもと DigitalTwin事業部

✉ dt-sales@kimoto.co.jp

<https://www.kimoto.co.jp>



KIMOTO HP

企画開発

 **こぶし建設株式会社**

 **NexTerrace**

株式会社 ネクステラス